

ロタウイルス予防接種の説明

1. ロタウイルスについて

ロタウイルスの感染を受けると、ロタウイルス胃腸炎になることがあります。ロタウイルス胃腸炎の多くは突然の嘔吐に続き、白っぽい水のような下痢を起こします。発熱を伴うこともあり、回復には1週間ほどかかります。5歳までにほとんどすべての乳幼児がこのウイルスに感染します。嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳炎・脳症などの合併症のため入院が必要となる場合があります。

2. ロタウイルス予防接種について

ロタウイルス予防接種は、上記ロタウイルス胃腸炎を予防することが最大の目的です。

ワクチンには1価ワクチン（ロタリックス®内用液）と5価ワクチン（ロタテック®内用液）があります。1価ワクチンは2回、5価ワクチンは3回経口投与します（注射ではありません）。なお、両ワクチン共に、1回目の接種は生後14週6日（15週未満）までに行うことが推奨されています。

3. 予防接種を受ける前に

（1） 予防接種を受けることができない人

- ア) 接種当日、明らかな発熱（体温が37.5℃以上）のある人（検温は医療機関で行います）
- イ) 重篤な急性疾患にかかっている人（下痢や嘔吐の症状があるときは延期してください。）
- ウ) 本ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーショック（通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと）を起こしたことがあることが明らかな人
- エ) 腸重積症※1を起こしたことがある人
- オ) 腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管疾患がある場合
- カ) 重症複合型免疫不全※2（SCID）がある場合
- キ) その他、医師が不適切な状態と判断した場合

※1 腸重積症：腸の一部が腸の他の部分に入り込み、腸が閉塞した状態。主な症状は、嘔吐を繰り返す、泣きと不機嫌を繰り返す（お腹の痛みのため、激しく泣いたり、不機嫌になったりしますが、痛みが出たりおさまったりを繰り返すので、症状が出ないときもあります）、ぐったりとする、原因不明の不機嫌な様子（日頃と変わった様子）、いちごゼリー状の血便などです。

※2 重症複合型免疫不全（SCID）：抗体の量が減少し、Tリンパ球が存在しなくなる先天性の疾患で、免疫不全疾患のなかで一番重い病気です。肺炎、驚口瘡、下痢などを発症し、場合により重症の感染症も起こります。

（2） 予防接種を受けた後の注意事項

- ア) 予防接種を受けた後30分間は、体調の変化に十分注意してください。高熱、けいれんなどの異常な症状がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- イ) 接種後、接種部位の異常反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ウ) 予防接種当日は激しい運動を避けてください。
- エ) 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。
- オ) 接種後10日間は、ウイルスが便などを介して家族や周りの人に感染することもあります。おむつを交換した後は手洗いをするなど注意してください。特に、ご家族の中で免疫系に異常

のある人がいる場合には、ワクチン接種を受けたお子さんと接した後の手洗いを徹底するなど注意してください。

【副反応が起こった場合】

- ・主な副反応として、腸重積のリスクの上昇、下痢、嘔吐、関、食欲不振等があります。
- ・接種後に重いアレルギー症状が起こることがあります。その他、腸重積と思われる症状(ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起きる嘔吐、いちごゼリー状の血便、おなかの張り)がみられた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・健康被害が生じた場合、その他わからない場合は、接種医又は半田市保健センター(Tel.0569-84-0646)へお問い合わせください。